

やしお市議会だより



市の鳥 ハクセキレイ



QRコードから市議会ホームページにアクセスできます!

主な記事

- 定例会レポートなど
意見書、学校給食提供事業者への視察を実施、第4回定例会議案処理結果一覧表……………2～3
- 一般質問から
「シラスリボンプロジェクトについて」、「新庁舎建設に伴う補助金の活用について」、「要介護度4・5の方にも特別障害者手当の周知を」などの一般質問、議会のQ&Aほか……………4～7
- 委員会のうごき
委員会のうごき、特別委員会、編集後記ほか……………8

令和3年2月 FEBRUARY.2021 NO.102

令和2年第4回定例会報告号



八潮市内指定文化財 シリーズ⑱

かん のん じ 観音寺のイチヨウ

八潮市指定記念物 (天然記念物)

観音寺のイチヨウは、開山記念樹として本堂前に植えられたものとされ、高さ14.5メートル、幹の太さ直径1.21メートル・周囲3.8メートル、根元の太さ直径1.52メートル・周囲4.8メートルあり、樹齢400年と推定される市内最古かつ最大のイチヨウです。

〈所在地〉中央四丁目

〈交通〉東武バス 諏訪神社前
バス停 徒歩5分

(問い合わせ先 資料館 ☎048-997-6666)

令和2年度八潮市一般会計補正予算 (第9号)など全36議案を可決

市民のうごき

令和3年(2021)1月1日現在
前月比

人口	92,501人 (+32)
男	48,034人 (+12)
女	44,467人 (+20)
世帯	44,268世帯 (+31)

やしお市議会だよりメール配信のお知らせ



空メール画面になるので、何か一文字入れて送信してください。

やしお市議会だよりの発行にあわせて、市の情報配信サービス「やしお840メール」を配信しています。

やしお840メールは、パソコンや携帯電話で受信できますが、利用するには登録が必要です。

市のホームページまたは左記のコードよりアクセスしてご登録ください。

令和2年第4回定例会(11月30日～12月17日)を開催しました。

定例会では、「令和2年度八潮市一般会計補正予算(第9号)」など補正予算関係18議案、その他「市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について」など18議案、あわせて36議案を原案のとおり可決しました。

また、議員提出議案として「議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」など2議案を原案のとおり可決しました。

●発行/八潮市議会 編集/八潮市議会報編集委員会 〒340-8588 埼玉県八潮市中央一丁目2番地1 ☎048-996-2111(内線277)

「やしお市議会だより」は、環境にやさしい再生紙と植物油インクを使用し、ユニバーサルデザインフォントを本文に採用しています。

意見書

定例会最終日に、掲載の意見書を原案のとおり可決し、関係機関に送付しました。

不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

日本産科婦人科学会のまとめによると、2018年に不妊治療の一つである体外受精で生まれた子どもは5万6979人となり、前年に続いて過去最高を更新したことが分かった。これは実に16人に1人が体外受精で生まれたことになる。また、晩婚化などで妊娠を考える年齢が上がり、不妊に悩む人々が増えていることから、治療件数も45万4893件と過去最高となった。

国においては2004年度から、年1回10万円を限度に助成を行う「特定不妊治療助成事業」が創設され、その後も助成額や所得制限などを段階的に拡充してきた。また、不妊治療への保険適用もなされてきたが、その範囲は不妊の原因調査など一部に限られている。保険適用外の体外受精や顕微授精は、1回当たり数十万円の費用がかかる何度も繰り返すことが多いため、不妊治療を行う人々にとっては過重な経済負担になっている場合が多い。

厚生労働省は、不妊治療の実施件数や費用などの実態調査を10月から始めているが、保険適用の拡大および所得制限の撤廃も含めた助成制度の拡充は、早急に解決しなければならない喫緊の課題である。

そこで、政府におかれては、

不妊治療を行う人々が、今後も安心して治療に取り組むことが出来るよう、下記の事項について早急に取り組みことを強く求める。

記

1 不妊治療は1人1人に最適な形で実施することが重要であるため、不妊治療の保険適用の拡大に当たっては、治療を受ける人の選択肢を狭めることがないよう十分配慮すること。具体的には、現在、助成対象となっていない「人工授精」をはじめ、特定不妊治療である「体外受精」や「顕微授精」さらには「男性に対する治療」についてもその対象として検討すること。

2 不妊治療の保険適用の拡大が実施されるまでの間については、その整合性も考慮しながら、所得制限の撤廃や回数制限の緩和など既存の助成制度の拡充を行うことにより、幅広い世帯を対象とした経済的負担の軽減を図ること。

3 不妊治療と仕事の両立できる環境をさらに整備するとともに、相談やカウンセリングなど不妊治療に関する相談体制の拡充を図ること。

4 不育症への保険適用や、事実婚への不妊治療の保険適用、助成についても検討すること。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年12月17日

埼玉県八潮市議会

提出先

内閣総理大臣

厚生労働大臣

学校給食提供事業者への視察を実施

令和2年11月10日に学校給食が再開されたことを踏まえ、本市議会では、令和2年12月18日、学校給食提供事業者である協同組合東部給食センターへ議員を派遣し、視察を行いました。

調理現場の見学

市内中学校に配送する給食の調理作業および工程等の説明を受けました。



会議室での説明会

令和2年8月7日、本市議会では、「児童・生徒に安心して安全な学校給食を提供することを求める決議」を可決しました。

この決議に対し、同センターが取り組んだことの説明を受け、その後、議員から同センターに対し質問を行いました。

Q. 同センターが保健所に提出した報告書の詳細な説明について

A. 今回の食中毒の直接の原因は、次の3点です。海藻サラダの原料のうちワカメと海藻ミックスを加熱しなかったこと、海藻の水戻しを前日に行ったこと、仕掛品や調理後の温度管理について注意が不足していたことです。この原因について対策を打ちました。

順守すべき衛生管理マニュアルには、厚生労働省の「大量調理施設衛生管理マニュアル」と、文部科学省の「学校給食衛生管理基準」があります。管理基準は、管理マニュアルの上乗せ基準で、より細かい指示の記載があります。管理基準に照らし合わせ、今回の事故で実行していなかったことは、①加熱殺菌していなかったこと、②当日の処理をしていなかったこと、③調理終了から喫食までの時間が2時間以内ではなかったことです。

①加熱殺菌については、生で食べられる野菜・果物以外は、75度以上で1分以上加熱することになっていますが、当時、ワカメや海藻ミックスは加熱調理品ではないと誤った判断をしていました。八潮市の給食では、現在、ミニトマト以外の食材は加熱殺菌することを徹底することとしています。

②当日の処理については、これまで、野菜の下洗いやカットは前日に行い、冷蔵庫に入れて保管していました。現在は、当日に

処理することとしています。③調理終了から喫食までの時間については、これまででは、2時間半程度かかっていました。現在は、以前よりも30分から1時間程度、開始時間を遅らせて調理することとしました。また、そうすることで、学校内部の配送が間に合わないため、学校や生徒さんのご協力を得て給食の配送場所を給食のエレベーターホールまでとさせていただきます。

Q. 今後、八潮市または八潮市教育委員会において第三者委員会が設置された場合を含め、それらの調査に積極的に応じる用意について

A. 外部の方から意見を伺うことは、必要であり大変有効なことであると考えています。11月に教育委員会から外部機関の工場立ち入りの申し入れがあった時もお受けしました。今後も、広く色々な方からの意見を聴きながら、改善と検証を繰り返していきたいと考えています。



Q. 食中毒事故後、食材の選定や購入方法、管理方法の変更点について

A. 今後、使用する食材は、原材料規格証明書だけでなく、細菌検査の結果も確認するようにしていきます。また、新しい食材については、教育委員会の栄養士さんにも確認していただくことにしました。なお、過去に使った食材については、細菌検査の結果の確認を終了していません。

食材の選別には、教育委員会の栄養士さんとも相談しながら、地産の食材を使用するようにしていきたいと考えています。味については、調理開始時間が遅くなったことにより、センター側の栄養士が一つ一つ味見をすることができるようになりました。また、温かいものは、より温かく提供できるようにしました。





議案の処理結果

令和2年第4回定例会

●市長提出議案処理結果一覧表

※ 総文…総務文教、建水…建設水道、福環…福祉環境【○は賛成、×は反対】

Table with 11 columns: 議案番号, 件名, 付託委員会, 議決結果, 平成, 公明, 共産, 令和, 市民, 声は, 維新. Rows 100-135.

●議員提出議案処理結果一覧表

Table with 11 columns: 議案番号, 件名, 付託委員会, 議決結果, 平成, 公明, 共産, 令和, 市民, 声は, 維新. Rows 17-21.

※ 平成…平成クラブ、公明…公明党、共産…日本共産党、令和…令和の会、市民…市民と市政をつなぐ会、声は…声は力の会、維新…八潮維新の会

一般質問から

令和2年第4回定例会の一般質問は、12月14日・15日・16日の3日間にわたり、15人の議員が30項目の質問事項について、市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問と、それに対する市の見解を紹介いたします。

なお、詳しくは2月下旬に更新予定の八潮市議会ホームページをご覧ください。

※議員名の上の番号は、議席番号を示しています。



八潮市の人口動態について

Q 将来人口予測について

A 本市では、人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と、人口の将来展望を提示し、長期的な視点で動向を見通した上で、第5次八潮市総合計画に定められた「平成37(2025)年度の将来目標人口10万人」を達成し、活力ある社会を維持していくため、「八潮市人口ビジョン」を平成28年3月に策定しました。

この「八潮市人口ビジョン」における人口の将来展望では、転入の促進、少子化抑制および定住促進などの目指すべき将来

8番 林 雄一

の方向に基づき取り組みを進めていくことにより、人口は増加し、令和7(2025)年には10万67人となり、それをピークに徐々に減少し、令和42(2060)年には9万3627人となると見込んでいます。



シトラスリボンプロジェクトについて

Q 愛媛県から生まれたという「シトラスリボンプロジェクト」。コロナ感染者や医療従事者への偏見や差別をなくす運動です。市の取り組みについて

A 新型コロナウイルス感染症について正しい知識を普及することや、感染された方を思いやり、地域で受け入れられる雰囲気や環境をつくること、偏見や差別を防ぐことに繋がります。



感染拡大防止のための啓発に併せ、周知できるよう検討してまいります。

19番 森下 純三

パートナーシップ制度導入について

Q パートナーシップ公的認証制度が全国的に広がり、12月1日現在66の自治体で導入済みとなっています。

A 今年3月、本市議会では、「八潮市におけるパートナーシップの公的認証制度(仮称)及び性的少数者に関する諸問題への取組に関する請願書」を全会一致で採択しました。本市での導入時期について伺います。

性的マイノリティの方への支援策として「パートナーシップの公的認証制度」を導入する自治体が全国的に広がる中、県内でもさいたま市、川越

2番 矢澤 江美子

市、坂戸市、北本市、鴻巣市で導入され、越谷市が来年4月から導入を決定するなど、増加していることは認識しています。

現在、第4次八潮市男女共同参画プランの見直しを実施しており、「パートナーシップ公的認証制度」導入については、プランに位置付けた上で、検討してまいりたいと考えています。このため、導入の時期については、現在のところ答えられませんが、本市議会における請願の採択を十分尊重し、検討してまいります。

新型コロナウイルス感染者とその家族への支援について

Q 新型コロナウイルス感染者の現状を伺います。また、市内の検査体制および感染した本人と家族への支援体制がどうなっているのか伺います。

A 感染者の特徴は、年代では20代が25人、感染経路では家庭内感染が31例、経路不明が48例と多く、現在、陽性者の内、入院治療8人、宿泊療養3人、自宅療養6人、調整中5人となっています。

市内の検査体制は、12月から、季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の両方の診療および検査を受けられる「診

9番 池谷 正

療・検査医療機関」が10カ所、県から指定されています。子育て世代の親が感染した場合は、子どもは児童相談所等に一時保護委託を行うことなどが考えられます。

感染者が感染し、要介護者で自宅待機が難しい場合は、市内2カ所の施設で短期入所生活介護の利用が考えられます。また、県では、要介護者が安心して生活できる場所を確保するための受け入れ施設を、県内の特別養護老人ホームや障がい者施設に開設しています。

学校給食について

Q 学校給食審議会の答申の中で、現在の民間への全面委託方式から公設公営若しくは公設民営方式へ移行するという内容に関して、大山市長の見解を伺います。

A 審議会からいただきました答申の内容については、教育委員会からの検討結果を踏まえ、今後、全庁的な検討が必要になってくると考えます。

そのため、ご質問の現在の民間への全面委託方式から公設公営若しくは公設民営方式へ移行する内容に関しては、現時点においては公式に見解を示す段階

13番 朝田 和宏

ではないと考えます。また、公設公営若しくは公設民営方式いずれの方式でも、それぞれメリット、デメリットが考えられます。

そのようなことから近隣市町の状況、建設用地および費用面等の調査、さらには現在の教育行政の上では、学校の増設や新設校の建設が予定されていることから、今後の八潮市にとって一番相応しい方策の総合的な検討が必要になってくるものと考えています。